

# 中央区

# 自治協議会だより

## 第14号(特集号)

平成28年7月29日発行 発行:新潟市中央区 自治協議会だより編集部 電話:223-7035(地域課内)

中央区自治協議会の活動内容をお知らせします。  
区民の皆さんと行政との「協働の要」である区自治協議会では、地域の特色あるまちづくりを進めるため、38人の委員が区役所と連携しながら活動しています。

自治協議会の議事の内容はホームページ([http://www.city.niigata.lg.jp/chuo/torikumi/jichikyo/kaigi\\_kaisai](http://www.city.niigata.lg.jp/chuo/torikumi/jichikyo/kaigi_kaisai)) = QRコード=で公開しています。



## あなたの身近にも自治協委員 38人の「協働の要」

新潟市中央区自治協議会は、地方自治法などにに基づき設置された市の附属機関です。地域のことは自らが考え、自ら行動する分権型政令市づくりをさらに力強く確かなものとするため、地域の多様な意見を調整し、そのとりまとめを行うなど、区民と市をつなぐ協働の要となるよう努めています。

現在、第5期委員として地域コミュニティ協議会などから選出された写真の38人が活躍しています。あなたの身近にも、地域をよりよくしようと、区民の皆さんと行政をつなぐ委員がいることを知ってください。

### 協働の仕組み

#### 自治会・町内会は

##### 身近な課題の解決

日常生活の最も身近な単位の任意の自治組織です。身近な課題に取り組み、住民の交流を図っています。

現在の中央区自治会数512

- 自治会 町内会**
- 【生活環境の向上】ごみステーションの管理、公園・側溝の清掃、道路の除雪、ほか
- 【安心で安全な暮らし】防犯灯の維持管理、地域の見回り、避難訓練の実施、ほか
- 【住民相互の交流】祭りの開催、ほか

#### 地域コミュニティ協議会(コミ協)は

##### 広域的な課題の解決

おおむね小学校区を単位とする任意の自治組織です。各自治会・町内会を中心に、学区内のさまざまな団体が構成。学区全体の住民の交流や自治会単位では対応が難しい広域的な課題に取り組んでいます。

#### 地域コミュニティ協議会

中央区には22コミ協

- 自治会 町内会
- PTA
- 青少年 育成協議会
- ほか

- 【具体的な活動例】
- ・通学路への安全標識の設置
- ・親子の居場所事業の実施
- ・高齢者の見守り支援

#### 区自治協議会(自治協)は

##### 区民と行政をつなぐ

平成19年4月、条例で設置されました。地域の特色あるまちづくりを進めるため、区役所と連携しながら、地域課題の解決や多様な意見を調整しています。

委員は現在38人

#### 区自治協議会

コミ協代表、大学教授、民生・児童委員会長連絡会、公募委員、ほか

- 水辺とみなとのまち部会
- 人にやさしい暮らしのまち部会
- 拠点と賑わいのまち部会

地域課題を各部会で検討し、本会議で審議します

いずれの組織も、主体となって活動しているのは住民の皆さんです

区役所

## 第5期中央区自治協議会委員の顔ぶれ

自治協議会(自治協)委員は区内在住または区内で活動する団体を代表する人のうち、次のいずれかに該当する人から市長が選任します。

1号委員：地域コミュニティ協議会がその構成員のうちから選出する者

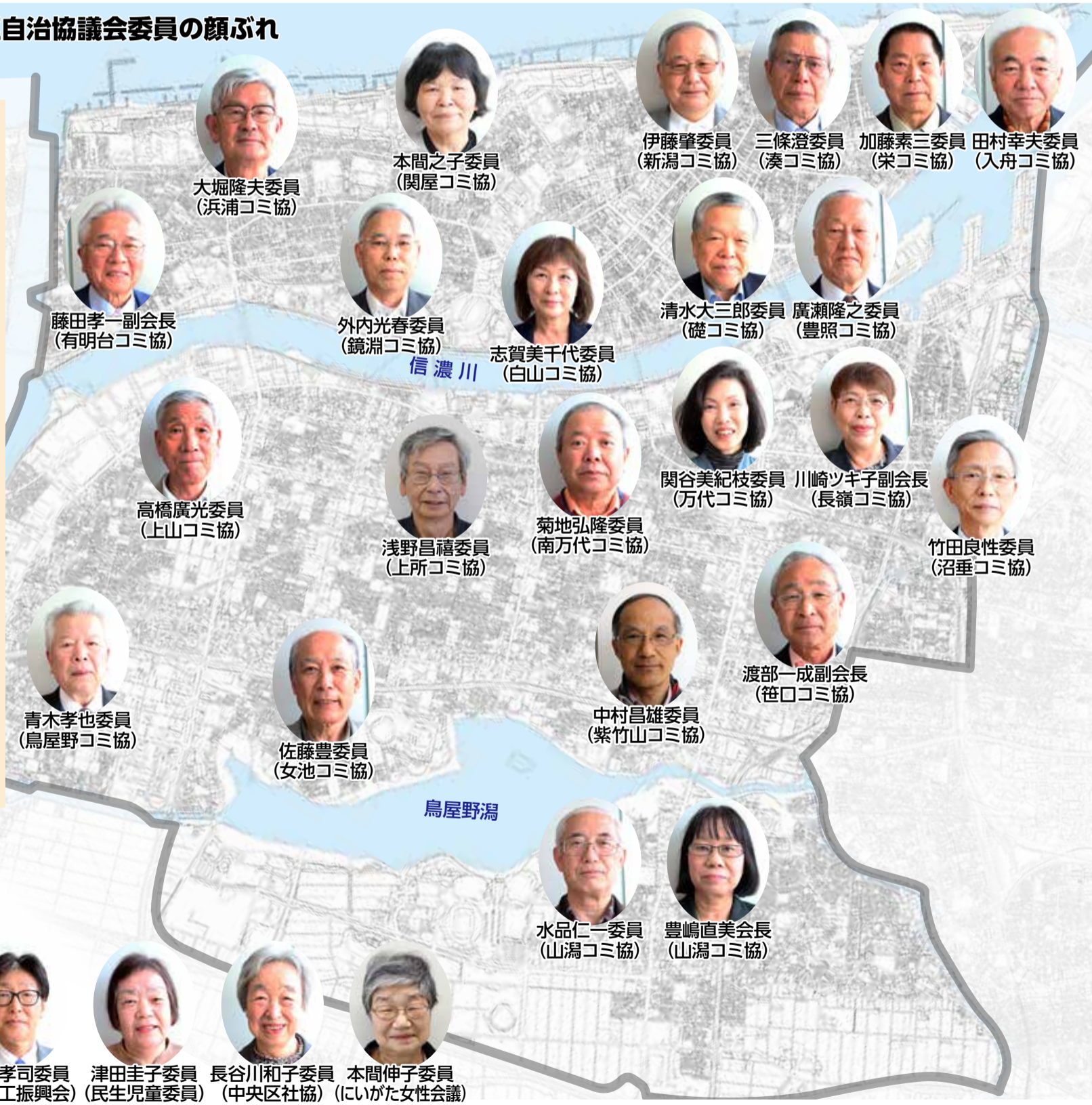
2号委員：公共的団体等がその構成員のうちから選出する者

3号委員：学識経験者

4号委員：公募による者

5号委員：1～4号のほか、市長が必要と認めた者

中央区自治協議会委員の定数は38人以内で、任期は2年です。



- 星野隆委員 (市商店街連盟)
- 津吉孝司委員 (南商工振興会)
- 津田圭子委員 (民生児童委員)
- 長谷川和子委員 (中央区社協)
- 本間伸子委員 (にいがた女性会議)
- 南雲保子委員 (市PTA連合会)
- 杉原名穂子委員 (新潟大学)
- 李在億委員 (新潟青陵大)
- 小島良子委員 (日和山小地域教育コーディネーター)
- 井上基之委員 (公募委員)
- 岩田桂委員 (公募委員)
- 田村勝義委員 (公募委員)
- 肥田野正明委員 (公募委員)
- 渡辺六三委員 (亀田郷土地改良区)
- 大坂昌子委員 (JA新潟市)

# 密着取材！自治協委員の1カ月



川崎ツキ子副会長 (長嶺コミ協)

25年ほど前に旧長嶺小でPTA会長を務めた後、人権擁護委員、民生児童委員などの地域の仕事を歴任。コミ協へは発足当時から関わっています。

「自治協は地域活動の情報収集の場かな」と話す川崎さんのスケジュール帳は、地域の行事でびっしり。今日も地域のために東奔西走しています。



川崎さんの朝はセーフティスタッフの仕事から始まります。地域の子どもの安全を見守りながら、「おはよう、気を付けて行ってらっしゃい」と送り出します。お休みした次の日は「昨日はどうしたの？」と子どものほうから声を掛けてくれるときも。



長嶺地域の「地域の茶の間」は毎週木曜日と月1回の火曜日。毎回30人程度が参加します。この日は折り紙の先生が2色づかいのきれいな箱の折り方を教えてくれました。

自治協議会では3つの部会のうち「人にやさしい暮らしのまち部会」に所属。この日の部会では、各地域の実態を把握する方法を話し合いました。



自治協議会の全体会議の約10日前には、会長・副会長と事務局が会議当日の運営について話し合う「総務運営会議」を開催しています。資料に目を通しながら「この議題は地域ごとに考え方が違うから質問が出るかもね」と会長とやりとりしていました。



地元の蒲原まつりでは実行委員として迷子のお知らせを放送。友達と無事に会えて安堵の涙を流した小学生に「よかったね、お祭り嫌いにならないで来年も来てね」と優しく声を掛けていました。

## 全体会議



月1回、委員38人が集まる全体会議を市役所本庁舎などで開催しています。川崎さんと肥田野さんも参加しているこの会議は公開の会議で、毎回数名が傍聴に訪れます。

議題は開催直前に市役所本館1階エレベーター前掲示板、東・南出張所に掲示するほか、区ホームページに掲載します。会議の議事は中央区だよりや本紙でお知らせしています。

## 区自治協議会の主な議事(抜粋)

平成28年3月(27年度第12回)～5月(28年度第2回)

平成27年度第12回(平成28年3月)から5月までに毎月開催した中央区自治協議会全体会議＝上記参照＝での議事や報告事項の中で、委員が質問・意見・提案を述べたものを抜粋し紹介します。

### 平成27年度

- ▶区自治協議会の制度改正について(第12回)
  - 事務局 自治協議会委員の資格を満20歳以上から満18歳以上に引き下げることや、委員推薦会議の構成を10人以内として、うち6人をコミ協選出委員(第1号委員)とする改正案を説明
  - 委員 自治協議会の年齢要件を変更することに合わせて、自治協議会に参加しやすい環境整備を要望

- ▶平成27年度第3回区自治協議会会長会議報告(第12回)
  - 委員 新潟市区自治協議会委員研修の講演内容および意見交換会のテーマについて報告

- ▶平成28年度の中央区予算について(第12回)
  - 事務局 区役所に配分された予算額と特色ある区づくり事業など主な事業について説明
  - 委員
    1. 区役所に配分された予算以外に、本庁から再配当される予算について質問
    2. 特色ある区づくり事業の具体的な内容について質問

- ▶新潟市犯罪のない安心・安全なまちづくり推進協議会報告(第12回)
  - 委員 市内の犯罪発生件数は減少しているが、広域化・悪質化しており、高齢者や子どもを狙った犯罪が増加していることを報告

### 平成28年度

- ▶平成27年度中央区自治協議会提案事業の報告と事業評価について(第1回)
  - 委員 各部会の座長からの報告を承認

- ▶中央区自治協議会のさらなる活性化について(第1回)
  - 委員 会議内容の選出母体へのフィードバック、地域課題の意見・情報交換、区(市)への要望手続き、会場レイアウトの変更についての会長提案を承認

- ▶中央区長マニフェストについて(第2回)
  - 事務局 「地域コミュニティの活性化を図り、支え合いによる地域づくりを推進」すること、「災害に強い安心安全な地域づくりを推進」すること、「自然、文化、歴史に触れ、楽しく、わかりやすく地域づくりを推進」といった3つの取り組みについて説明
  - 委員
    1. 駐輪場の使用状況について検証を求める意見
    2. 避難所運営の体制強化について継続要望
    3. 海岸沿いの駐車場整備について要望

## 水辺とみなとのまち部会

■担当分野 「水と緑が調和したやすらぎのあるまち」「未来につなぐ歴史・文化のまち」

■検討テーマ 水辺、緑化、歴史・文化、産業、まちなみ、ほか

■過去の自治協議会提案事業

23年度

「鳥屋野潟北側湖岸の桜並木と湖周道路の実態調査」

24年度

「鳥屋野潟シンポジウム」の開催

中央区長宛てに鳥屋野潟の環境整備に関する提案書を提出

25年度

テーマ：「新潟島の北前船時代の街並みづくりの提言」

北前船寄港地および区民アンケート調査、佐渡宿根木の現地調査

26年度

「みなと新潟『北前船フォーラム』」の開催

中央区長宛てに北前船に関連付けたまちづくりに関する提言書を提出

27年度

開港150周年(2019年)に向けた各種調査・研究

他の開港4都市への開港記念事業調査

北前船ゆかりの地域のコミ協やまちづくり団体との情報交換会の開催

■今年度は「訪ねよう!北前船物語」を開催中

夏休み親子社会科体験企画「訪ねよう!北前船物語」を開催中です。北前船が残したみなと新潟の歴史と文化を、次世代を担う子どもたちに伝え、誇りと愛着を持ってもらおうと企画したものです。現在「西大畑コース(8月28日)」の参加者を募集しています。申し込み方法は区役所ホームページに掲載しています。

対象・定員 小学4～6年生と保護者各15組30人(応募多数の場合は抽選)

参加費 ひとり1,000円(昼食付き) 問い合わせ ☎223-7023(中央区地域課)



肥田野正明委員 (公募委員)

自治協委員に就任する前から、地域の魅力発信、障がい者雇用、環境事業などさまざまな分野で活躍。まちづくりなど数多くの団体に所属し熱心に活動しています。「これからは学生や若い世代を巻き込んだ持続可能な地域形成を考えて実現させてみたい」という熱い思いで第5期の委員に応募しました。



朝5時過ぎから黙々とゴミを拾い続ける肥田野さん。「水辺の拾活」と名付け、毎日自主的にやすらぎ堤のゴミを拾っています。ウオーキング中の市長にばったり会うこともあるのだとか。

肥田野さんが経営する清掃関係の会社では、障がい者を積極的に雇用しています。障がい者アートの展示会では、障がい者雇用に興味のある経営者に雇用の仕方を具体的にアドバイスしていました。



## 人にやさしい暮らしのまち部会

■担当分野 「安心してすこやかに暮らせるまち」

■検討テーマ 教育、協働、健康・福祉、防災・防犯、ほか

■過去の自治協議会提案事業

23～24年度

「津波避難施設の調査・確保とマップ作成・配布事業」

106施設と津波避難施設使用協定を締結

23～25年度

「ひとり暮らし高齢者の生活と意識に関する調査」を活用・実践する事業」

26年度

「超高齢・人口減少社会における自治会・町内会の役割に関する調査」

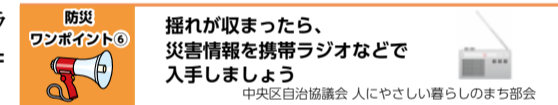
27年度

「誰もが住みやすく地域で楽しく暮らせるまちづくり」に向けた調査・検討」

防災分野での「わが家のチェックシート」の作成・配布

中央区だよりでのミニコラム「防災ワンポイント」＝

右＝の連載開始



■今年度のテーマは「安否確認および災害時要援護者支援体制確立の調査・研究」  
27年度の「自助」に続き、今年度は、「共助」「公助」を考えるため、「安否確認および災害時要援護者支援体制確立の調査・研究」をテーマに活動中です。  
市の防災体制や災害時支援体制を学んだあと、各地域の実態や考え方を部会で話し合うことにより個人情報保護などの問題点を整理し、地域での「共助」のより現実的な方法を検討、整理していく予定です。進捗状況は随時本紙でお知らせします。

関屋浜の海の家でパーベキューをしながら、やすらぎ堤を使ったアウトドアイベント「まちなかアウトドア」の打ち合わせ。9月17～18日の開催に向けて、内容を協議しました。



スポーツ公園で行われた「にいがたGREENフェスタ」で水上で楽しむアトラクションを運営。パドルボート＝写真＝やウォーターバルーンなど、多数の来場者の安全を見守りました。



肥田野さんが所属する「住民委員会」の総会。新潟市の魅力ある発展の実現に向けて行動する「志」を持った皆さんの集まりです。

肥田野さんはここで「What's NIIGATAキャンペーン応援プロジェクト」として、他団体との事業協力を提案。広報の連携強化を図り、まちづくりに主体的に関わる人を増やす仕組みを発表しました。



自治協では拠点と賑わいのまち部会に所属。この日の部会では、部会提案事業のスケジュールを確認したあと、5つの未来プラン＝上記の各部会紹介参照＝を絞り込み、各プランの調査・検討を行うチームを編成しました。



# 中央区自治協女子会



当日の参加者：(上段左から)井上編集部会座長(司会)、本間伸子委員、津田委員、本間之子委員、杉原委員、南雲委員、小島委員 (下段左から)川崎副会長、豊嶋会長、石塚区長、長谷川委員、関谷委員

6月8日、区内の飲食店で自治協女性委員のランチミーティングを開催。「女性の地域活動への参加」をテーマに話は尽きず、盛り上がりました。

## テーマは「女性の地域活動への参加」

**■司会** 女性委員の皆さんが地域で活動するようになった経緯や現状などを自由にお話してください。

**■区長** 私は自治協議会の中心はコミ協だと思っています。自治協は地域課題を解決するために皆さんが集まって話し合う場。女性委員の皆さんが生活者の視点から地域課題をとらえるといい地域になっていくのでは。



**■杉原委員** 中央区は昔からのつながりがあるような地域もあれば、若い人が多い地域もあるなど、いろいろな地域がごちゃごちゃになっている印象。また、関東などと比べて、地域のことをやっている人たちには男性が多いように感じます。

女性が参画する場合は増えても、地域で活動する女性はまだまだ困難なこともあるのではと思います。

**■関谷委員** コミ協では自治協議会での話し合いの内容を報告する場はありませんが、町内会長や民生委員として活動していると、自治協で町内のいろいろな問題への対処法が得られるのでためになっています。

町内会では高齢化が進み、事業をやろうとしても難しくなっています。

**■区長** コミ協には自治会・町内会のほかにも社会福祉協議会や赤十字、防災会などが入っています。事業のための補助金をもらおうとすると自治会単独では難しい。PTAとの合同事業にするとか、うまく組み立てる方法はあるので相談してください。

**■川崎副会長** 私のコミ協は活発に活動している方だと思います。16町内会それぞれから、コミ協の各専門部に役員を送り、年間計画を立てて事業をやっています。

現時点では町内会長はみんな男性なので、どうやったらコミ協の役員に

女性を増やせるのか、区の研修をきっかけに考えました。そこで副会長と健康福祉部長を兼ねていた役員の仕事

を2つに分けてポストを増やし、50代の女性を誘って部長になってもらいました。できそうなところから女性を増やし、少なくとも女性の役員の後任には女性を補充したいと考えています。

**■本間伸子委員** 私はいがた女性会議という女性団体出身です。自治協には、第一期のときに公募委員として参加していました。その時の女性委員はわずか4人。当時は自治協そのものも始まったばかりで部会の活動も模索中で、コミ協から選出された1号委員の皆さんの町内会の話聞いて終わってしまった印象です。



久しぶりに参加した5期目では、女性の委員の皆さんも自らの活動に基づく発言が多くなったと思います。

また、教員の委員が自分の大学の学生を部会に連れてきて、町内会の勉強をさせたことがありました。いろいろなことを試行錯誤しながら自治協も変わってきていると思っています。

**■津田委員** 私の地域のコミ協はトップの2人がとても頑張っているのので、行事は活発ですが、今後のことを考えると、次の世代が出てきて少ずつでも交代していければと思っています。最近では多くの人が65歳まで勤めているので難しいのかもしれませんが、無理なことはしないで、誰でもできるようなことをみんなでやってみませんか」と提案しています。

## 人材発掘や後継者をどうするか

**■区長** 民生・児童委員もなり手がなくて困っているとよく聞きます。コミ協の中で民生・児童委員の人材発掘について話し合う機会を設けたらどうでしょう。

**■津田委員** 町内の役員は「民生・

児童委員の)後継候補を探してきてくれれば一緒に頼みに行く」という考えのようですが、理想としては町内会長と一緒に探すことができると思います。

町内会長も高齢化していて、でも名誉でやっているような人も多いので、若い人も入りにくいのでは。

**■区長** 町内会長という人はいても、町内副会長というのはいま聞かないから、そういう役職があれば次につながっていくやすいかもしれませんね。

**■本間之子委員** 関屋地区ではコミ協ができる前からの会長がさまざまな役職を兼ねてすべて引き受けていたので、後継者がなかなか育ちませんでした。役員の皆さんは後継者を探していても、仕事が多いので他人に勧めづらいです。私が地域の活動に関わるようになってきたきっかけは、長女が小学校6年生のときに、町内子供会の行事企画担当になったことです。町内の皆さんに子どもたちの名前と顔を覚えてもらおうと、バス旅行を企画しました。地域とのつながりを持つことが大切と考え、大人も参加できる旅行にしました。

平成13年には町内で「地域の茶の間」も立ち上げました。男性が少ないのが残念ですが、今でも毎回20人くらい集まります。民生・児童委員の集まりでは他の町内会にも立ち上げを勧めるのですが、女性は意見を言いがらような町内もあると聞いています。

コミ協内には20の町内会がありますが、町内会の役員は輪番制ですぐに交代するところが多く、みんな自分の町内会のことだけで精一杯。コミ協の役員の手が足りないのが現状です。

## 長谷川委員

私の町内会はこの年でも副会長をしなければいけないほど人材不足。私の町内は戸建てがわずかであとは集合住宅ですが、一番大きな集合住

宅から必ず会長を出してもらおう約束でなんとか回しています。

私のコミ協も「地域の茶の間」が多くあり、ほとんどの町内で開設していますが、別の地域の茶の間を作ろうと思

って作ったわけではなく、白新コミュニティハウスができたときに、すぐきれいだだったので、当時の町内会長さんが「こういうところにお年寄りが集まってる話があったらいいね」と提案したのです。ではなんとかがやってみようかと私が始めたのが最初です。そこからいろいろな人の力を借りて今でも続いています。

現在まで200回以上開催しています。皆さんが集まってひと月の話をし、何かちょっとほかのことを付け足すと喜んで帰り、また次においでになります。地域の茶の間としてはそれで十分だと思っています。

私の出身母体である区社協には女性が多とんどいないので、自治協の委員として私の次に女性が出られないことが懸念事項のひとつです。

## 女性や若者を取り込むには

**■豊嶋会長** 山潟地区は中学校区でコミ協を組織しているので、自治協委員も小学校区単位で2人出しています。うち1人は女性ということですが、委員になっていません。

山潟コミ協も自治会長が100%男性。各種団体で少し女性がいる程度です。私は小・中学校の両方で地域教育コーディネーターをやっているのでコミ協に入れてもらっています。

山潟コミ協も発当初14人の役員のうち女性はいませんでした。どこの地区も同じだと思いますが、やはり地域も男社会だなと感じました。その後新しい役員を入れましたが、それでも女性は今2人です。でも世の中の半分が女性。コミ協でももう少しと女性が動けるといいなと思っています。

自治協では、委員の皆さんに「自治協で話し合った内容をそれぞれ選出母体に戻って報告してほしい」とお願い

しました。そういう機会があると、コミ協でも女性が発言する場が増えると思いますし、そうなるとその先に役員になるということも増えるのではないかと思います。

女性も家庭を持っていたりすると、男性よりも広くいろいろなところに目が向くのではないかと考えています。自治協ではそんな素直な気持ちで何か役に立てたらと思っています。

**■小島委員** 地域教育コーディネーターとして自治協やコミ協に参加しています。コーディネーターは地域の人材を学校の中に取り込むのが仕事ですが、学校に関わるボランティアはこの学校でも民生・児童委員の女性が多いです。ではコミ協はどうかと見てみると、コミ協は圧倒的に男性が多いです。

そんな中でどう新しい人材を入れていくか。私は、若い人たちでも受け入れてもらえればよいなと思っています。今年度、入舟コミ協にまだ現役で仕事をしている40代の町内会長さんが入ってきてくれました。コミ協の仕事も若い人たちが引き継いで行けたらうまく回るのはないかと見守っています。

**■南雲委員** PTA連合会の役員として自治協に参加しています。共働きの多い中、子育ては親だけでできないのではなく、地域みんなで育てていかなければならない時代なのだと感じています。

私のところは人数の少ない小学校で、地域の皆さんも協力的です。私たちもそれに甘えてやってもらっているの、今度は何か地域に恩返しができるだろうかと思っています。

**■区長** 皆さんありがとうございます。現状はさまざまですが、地域に目を配り、できそうな女性をどんどんコミ協に誘えばいいと思います。

コミ協は自由な組織なので、町内会長でなくても、PTA活動に熱心な人とか、そういう視点で探していけば、女性を含め、人材も増えていくと思います。人材発掘の段階から女性の視点を生かして、仲間を増やしていきたいです。どうぞよろしくお願いいたします。